

モアナ 梨江さん

～笑顔で前へ！～

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、人と人とのつながりや地域の絆をあらためて考え、その大切さを再認識することになりました。2年半の時が経った今、当時から現在までのお話を福島県にあるスパリゾートハワイアンズのダンシングチーム「フラガール」（以下チーム）のリーダー、モアナ梨江さんに伺いました。



－夢を叶えてフラガールに

もともとすごく踊りが好きで、小学校3～4年生の頃に家族でハワイアンズのポリネシアンショーをみて衝撃を受け、自分もこんなステージで踊りたいと思ったのが、フラガールになったきっかけです。それからずっとステージで踊りたいと思っていて、就職する時に、やはりここ（チーム）が一番という思いがあったので、チャレンジして夢を叶えることができました。

－映画フラガール

私たちが入社した頃は、今ほどそんなにショーを見ることが目的のお客さんの入りが良くなかったんです（笑）。2006年に映画が公開されてからは、本当にたくさんの方に足を運んでいただいて、「フラガール」と呼ばれるようになってきました。（映画の中で南海キャンディーズのしずちゃん演じた役は、モアナ梨江さんがモデル。）その当時、レッスンの時に監督さんが私をみて、こういう大きい人（モアナ梨江さんの身長は173cm）も入れたいと思われたようです。自分がモデルと聞いて、不思議な感じがしました（笑）。

－そして、東日本大震災

地震が来た時は、ショーが終わって、お昼ご飯を食べる準備をしていました。揺れが来て、「地震だ」と思ったら、楽屋から警報が鳴り響いて、どんどん揺れが強くなって。ドアを開けて外を見たら、今まで見たことがない光景が目に入ってきました。その後、私たちは自宅待機になりました。

－踊りたいという気持ちから、全国きずなキャラバンへ

自宅待機中にチームの中からも「踊りたい」という意見が出てきて、「フラガール全国きずなキャラバン」※1という活動につながっていきました。

●本名：大森 梨江 ♥ 出身：福島県双葉郡双葉町

●役職：スパリゾートハワイアンズ・ダンシングチーム「フラガール」リーダー

●略歴

2004年 常磐音楽舞踊学院第40期生として入学

2009年 ダンシングチーム「フラガール」サブリーダー就任

2012年 ダンシングチーム「フラガール」リーダー就任。
ソロダンサーとしてデビュー